

羅針盤

令和5年度 第11号（通算358号）

令和6年2月8日（木）発行

岡山県総合教育センター 企画部

Tel (0866)56-9102 Fax (0866)56-9122

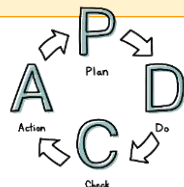
切れ目のない適切な支援を引き継ぐために ～次年度、安心できるスタートへ向けて～

年度末のまとめの時期が近づいてきました。次年度、子どもたちが安心してスタートできるよう、今年度行った指導・支援を丁寧に振り返って整理し、大切なことを確実に引き継ぐことができるよう準備をしておきましょう。

指導・支援を振り返り、確実な引継ぎを行うために（校内、校外）

引継ぎはどのように行えばよいのですか？

まずは**チーム学校**で**今年度の指導・支援**について振り返りをしましょう。情報共有ツール等を使うとより具体的な話し合いを行うことができます。



また、支援の方法のみを引き継ぐのではなく、**困難さの背景にある要因**も引き継いでいくようにしましょう。そうすることで、新しい環境の中で生じるであろう**困難さをイメージしやすくなる**と思われます。そして、**その対応についても話し合っておく**と良いでしょう。

情報共有ツール

- ・個別の教育支援計画
 - ・個別の指導計画
 - ・共通支援シート
 - ・長期欠席・不登校児童生徒に関するアセスメントシート
- など

情報共有ツールを活用すると・・・

必要な情報が蓄積され関係者で共有できるので、将来を見据えた支援についてより多面的な視点から協議することができ、その子供の困難さに応じた指導に生かすことができます。

切れ目のない支援の引継ぎと関係機関との連携強化

（第4次岡山県特別支援教育推進プラン概要版を参照）

個別の教育支援計画等の作成と活用

- ✓ 進級時や就学・進学時の学校間における文書による引継ぎ
- ✓ 高等学校における卒業後の進路先への引継ぎ
- ✓ 記載方法、引継ぎ時のケース会議の在り方等、効果的な活用に関する取り組みの推進

大切なことは・・・

特に、進路等による学校間での引継ぎの場合は、**内容が確実に伝わる**ように、引継ぎ先となる学校と積極的に連絡会を設ける等、**十分な情報交換ができるよう工夫**する必要があります。

今まで行われてきた支援が途切れてしまうことがないように、引継ぎを行い、支援をつないでいくことで、**子供たちの安心・安全な生活を支えて**いきましょう。

もし、引継ぎにともなって新年度の支援体制等を考えるケース会を行う際には、当センターの「学校コンサルテーション」もご利用いただけますのでご検討ください。



学校コンサルテーション
＜総合教育センターHP＞